

ワタミグループ。 2026年3月期上期 決算説明会

- 1) グループ全体業績 ワタミ株式会社 経営企画本部 本部長 西澤 徹
- 2) 主力事業の取り組み(国内外食事業、宅食事業、海外事業、その他) ワタミ株式会社 代表取締役会長 兼 社長 CEO 渡邉 美樹 取締役副社長 CHO 清水 邦晃 取締役 常務執行役員 渡邉 将也

グループ全体業績

2026年3月期 上期実績

経営企画本部 本部長

西澤徹



1.グループ業績: 2026年3月期 上期 実績

売上高においては国内外食事業が牽引し増収。 営業利益については宅食事業の広告宣伝費を積極投資した結果減益。 経常利益、当期純利益については為替差損が縮小し増益。

単位:億円・%(▲は損失)

	1	2	1-2	1÷2
	26年3月期	25年3月期	前期比	前期比
	(上期 実績)	(上期 実績)	増減	率
売上高	447.1	433.8	13.2	103.1
営業損益	21.3	22.2	▲ 0.9	95.9
経常損益	22.4	19.0	3.4	117.9
当期純損益	17.1	14.5	2.6	117.9
一株当たり 当期純損益(円)	36.9	29.8	7.1	123.7

2. 事業セグメント別: 2026年3月期上期 実績

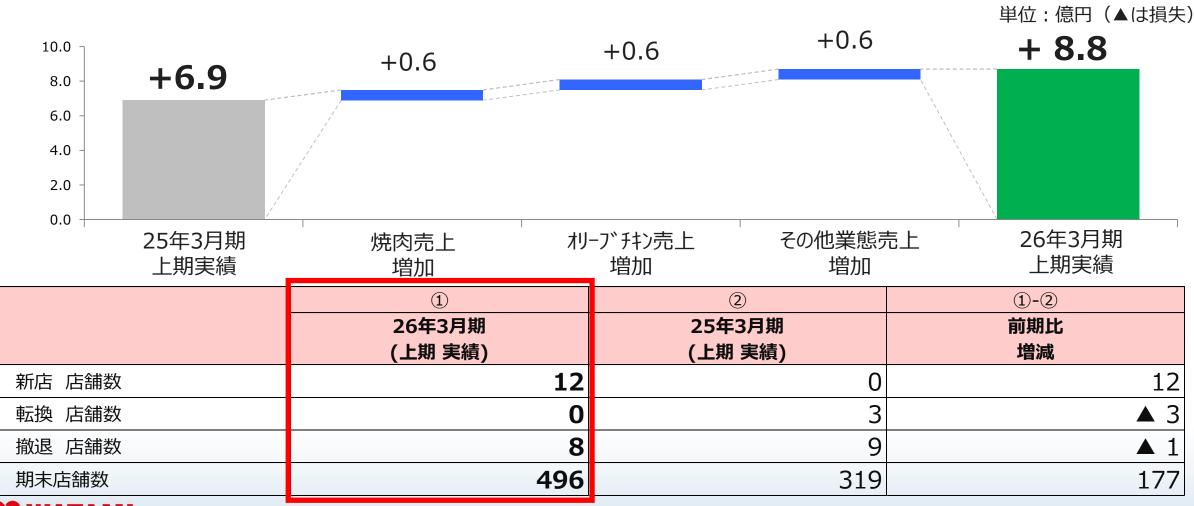
国内外食事業は好調に推移。宅食事業は広告宣伝費を積極投資し減益。海外事業は一部エリアで苦戦し、微減益。

				半14.1	息円・%(▲は損失)
		1	2	1-2	①÷②
		26年3月期 (上期 実績)	25年3月期 (上期 実績)	前期比 増減	前期比 率
国内外食事業	売上高	180.1	163.7	16.3	110.0
	営業損益	8.8	6.9	1.8	126.9
宅食事業	売上高	199.6	201.5	▲ 1.8	99.1
	営業損益	20.7	23.4	▲ 2.6	88.8
海外事業	売上高	52.1	52.3	▲ 0.2	99.5
/ 中/ 小 尹 未	営業損益	0.3	0.9	▲ 0.5	38.1

出位·倍□.0%(▲/+铝生)

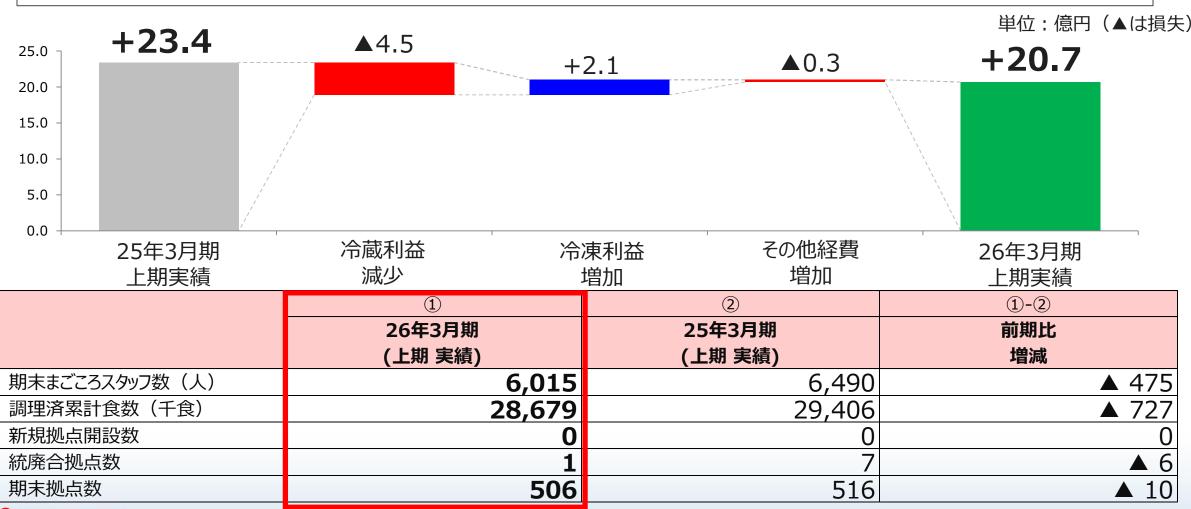
3.業績要因:[1]国内外食事業

焼肉業態、オリーブチキン業態が増益を牽引。 営業利益は対前年で1.8億円の増益となり、営業利益は8.8億円の黒字で着地。



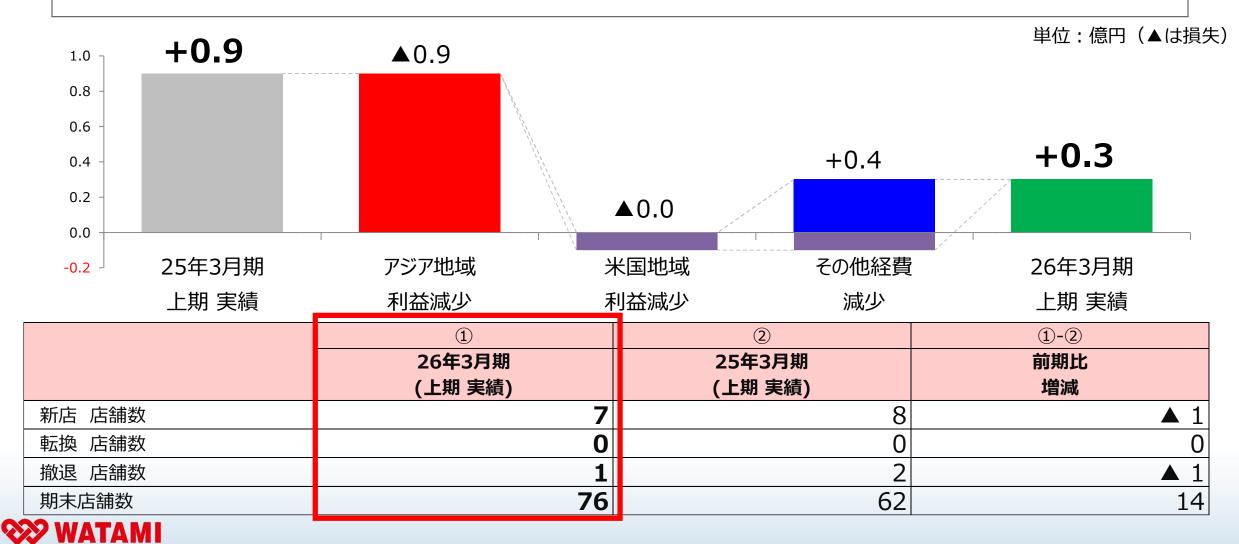
3.業績要因:[2]宅食事業

累計調理済食数が前年比97.5%と伸び悩んだことに加え、新商品発売に向けた広告投資を積極的に実施した結果、2.6億円の減益。営業利益は20.7億円の黒字で着地。



3.業績要因:[3]海外事業

アジア地域は香港が改善の一方、LF社が原価および人件費の悪化で減益。 米国地域は、関税問題などの向かい風に直面するも、前年同水準の利益確保。



4.財務状況:2026年3月期上期 実績

自己資本比率は38.1%。 ネットDEレシオは▲0.6となり、財務的な安定性は確保。

単位:億円・%(▲は損失)

	26年3月期 (上期 実績)	25年3月期 (実績)	前期比 増減
現預金	398.4	457.5	▲ 59.1
有利子負債	254.2	290.7	▲ 36.5
自己資本	258.6	267.9	▲ 9.3
総資産	677.9	714.9	▲ 36.9
(ネットDEレシオ)	▲ 0.6	▲ 0.6	0.1
(自己資本比率)	38.1	37.5	0.7
(自己資本比率) ※資本性ローン加味	42.6	41.7	0.9

5.フリーCF (簡易) 状況 : 2026年3月期 上期 実績

フリーキャッシュフローは13.3億円となり、営業CF内での投資を堅持。

(単位:億円)

	26年3月期 (上期 実績)	25年3月期 (上期 実績)	差異
+)当期純利益	17.2	14.3	2.9
+)減価償却費	11.0	11.1	▲ 0.1
-)設備投資実施額	14.9	▲ 11.6	▲ 3.3
差引 フリーCF(簡易)	13.3	13.9	▲ 0.6

(※) 設備投資実施額=有形固定資産取得額+保証金差入額+無形固定資産取得額



6.グループ業績:2026年3月期通期計画

売上、営業利益は増収増益を見込み、営業利益は46.0億円の計画。 USDの為替想定は期初と同水準で見込み、当期純損益は40.0億円の計画。

単位:億円・%(▲は損失)

	1	2	1-2	①÷②
	26年3月期 (計画)	25年3月期 (実績)	前期比 増減	前期比率
売上高	910.0	887.1	22.9	102.6
営業損益	46.0	45.6	0.4	100.7
経常損益	52.5	52.4	0.1	100.1
当期純損益	40.0	35.2	4.8	113.6
一株当たり 当期純損益(円)	87.8	75.9	11.9	115.6

7. 株主還元 : 配当方針/第40期計画

年度	第38期 24年3月期 (実績)	第39期 25年3月期 (実績)	第40期 26年3月期 (予定)
一株当たり配当額(円)	10.0	10.0	10.0
配当性向 (普通株式のみ)	10.8%	13.2%	11.4%
配当性向 (優先株式込み)	21.0%	25.0%	22.0%



株主優待ルールを見直し、より使いやすく変更

株主様



複数枚使えるようにしてほしい

株主様



ランチでも使いたい



項目	変更前	変更後
ご利用枚数	1回のお会計につき 最大1枚 (条件:税込500円以上)	1回のお会計につき <mark>複数枚</mark> (条件:税込2,000円ごとに1枚)
ご利用時間	ランチタイム不可	全時間帯



2026年5月発行分より適用(有効期限:2026年6月1日~11月30日)



グループおよび各事業 主要取り組み

代表取締役会長 兼 社長 CEO

渡邉 美樹



1.グループ業績: 2026年3月期 上期 実績

増収減益

国内外食事業が増収を支え、売上高は前期比103.1%と堅調に推移。 宅食・海外事業の影響により、営業損益は前期比95.9%で着地。

単位:億円・%(▲は損失)

	26年3月期	25年3月期		1)÷② 前期比
売上高	(上期 実績) 447.1	(上期 実績) 433.8	<u>増減</u> 13.2	203.1
営業損益	21.3	22.2	▲ 0.9	95.9
経常損益	22.4	19.0	3.4	117.9
当期純損益	17.1	14.5	2.6	117.9
一株当たり 当期純損益(円)	36.9	29.8	7.1	123.7

2.グループ業績: 2026年3月期 通期計画

増収、本業利益も増益

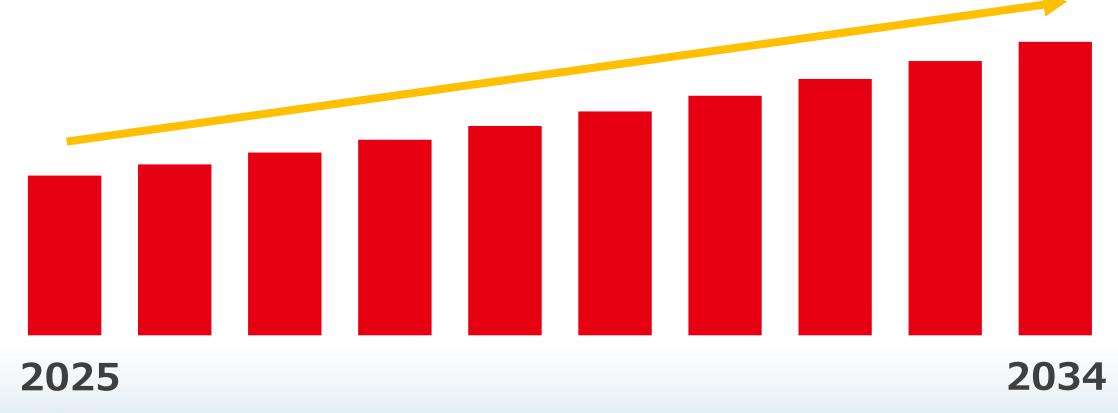
売上、営業利益は増収増益を見込み、営業利益は前年比100.7%、46.0億円の計画。 USDの為替想定は期初と同水準で見込み、当期純損益は40.0億円の計画。

単位:億円・%(▲は損失)

	1	2 1-2		①÷②	
	26年3月期 (計画)	25年3月期 (実績)	前期比 増減	前期比率	
売上高	910.0	887.1	22.9	102.6	
営業損益	46.0	45.6	0.4	100.7	
経常損益	52.5	52.4	0.1	100.1	
当期純損益	40.0	35.2	4.8	113.6	
一株当たり 当期純損益(円)	87.8	75.9	11.9	115.6	



2025年を起点に、毎年 7% の賃上げを継続。 10年後に2025年比で給与水準 2倍 を目指す。





2025年度上期 宅食事業

















冷蔵食数未達および、 広告宣伝費の積極投資により、減収減益。

単位:億円・%(▲は損失)

	売上高				営業利益			
	今期	前期	前期差	前期比	今期	前期	前期差	前期比
冷蔵	186.8	192.3	▲ 5.6	97.1	22.2	26.7	▲ 4.5	83.1
冷凍	12.4	8.9	3.5	138.6	1.6	0.1	1.5	2,949.8
その他調整・本部等	0.4	0.2	0.3	185.7	▲ 3.0	▲ 3.3	0.4	_
宅食事業	199.6	201.5	▲ 1.8	99.1	20.7	23.4	▲ 2.6	88.8



「ワタミの宅食」アンバサダー

徳光和夫さん

~新登場キャンペーン~

ご満足いただけなければ

全額返金!!



2025年度上期 宅食事業





\10月6日週より全国販売/

☑業界最安値に挑戦!

☑品質と低価格の両立

お惣菜のみ450円(税込) ごはん付き 500円(税込)

全国販売から1カ月で、日あたり2万食突破



低価格とおいしさのヒミツ①

仕入先を大きく広げ、 世界中からおいしくて安価な食材を仕入

低価格とおいしさのヒミツ②

仕入食材の加工度を下げ、 原材料原価を低減



低価格とおいしさのヒミツ③

設備投資により、 加熱調理と冷却装置を増強

低価格とおいしさのヒミツ4

2日の稼働で6食を製造。 高い生産性を実現





低価格とおいしさのヒミツ⑤

週2回で 6食をお届け 配送コスト 削減 低価格とおいしさのヒミツ6

安全性とおいしさを維持
消費期限の
延長可能に

低価格とおいしさのヒミツ⑦

容器サイズを ミリ単位で調整 配送効率



2025年度上期 宅食事業





9月11日 新商品記者発表会 112名90社が参加

メディア露出(TV/WEB/紙面/地方メディア):約200件



記者発表を皮切りに販促を加速前期比約130%の広告投資

【5月クロスメディア】



【6月クロスメディア】



【8月クロスメディア】



【9月クロスメディア】







冷凍惣菜

ワタミの宅食ダイレクト

単位:百万円

売上推移(23年4月~25年9月)







売上前年比(4-9月)は137%



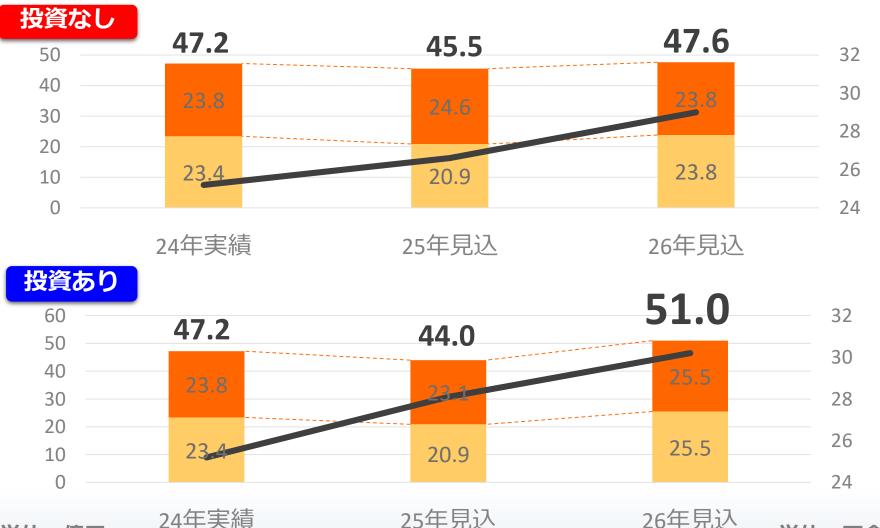




10月新発売 売上目標117%

2

来期の成長に向けた戦略的投資



- 広告宣伝費の積極投資により、今期(25年3月期) は一時的に減益。
- 翌期(26年3月期)は51.0億円まで回復。
- 26年の食数は、 投資なしで29万食 投資ありで30万食。

単位:億円

⋙ WATAMI — 上

___上期利益

下期利益

—通期食数

単位:万食

2025年度上期 国内外食事業

増収増益





















24 244 7 11 2 4





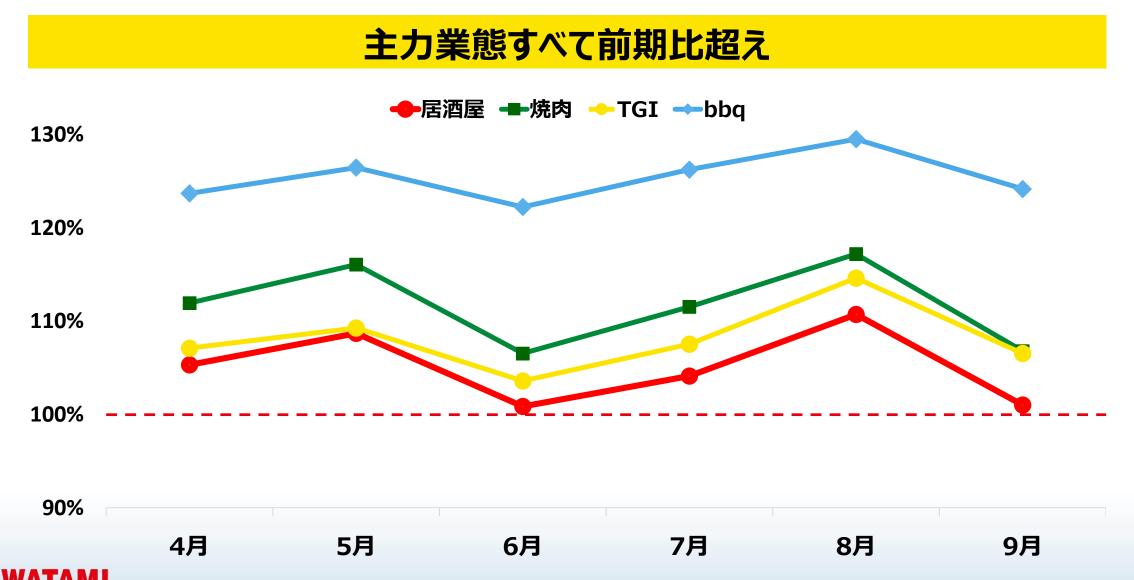
焼肉・TGIなど既存事業が堅調に推移。

居酒屋の安定した収益に加え、オリーブチキンなどの収益改善が寄与し、国内外食事業は増収増益となった。

単位:億円・%(▲は損失)

	売上高				営業利益			
	今期	前期	前期差	前期比	今期	前期	前期差	前期比
居酒屋業態	89.9	88.9	1.0	101.1	13.7	14.0	▲ 0.3	98.0
焼肉業態	31.1	29.1	1.9	106.6	2.0	1.4	0.6	145.7
TGI業態	16.6	15.2	1.4	109.4	0.3	0.2	0.2	190.6
オリーブチキン業態	6.1	5.0	1.1	121.7	0.4	▲ 0.2	0.6	_
サブウェイ業態	12.4	0.0	12.4	_	0.1	0.0	0.1	_
その他業態・本部等	24.1	25.4	▲ 1.5	94.5	▲ 7.8	▲ 8.4	0.6	_
国内外食事業	180.1	163.7	16.3	110.0	8.8	6.9	1.8	126.9

2025年売上前期比の推移(既存店)



「QSCのバランスにおいて価格が安いこと」にこだわり続けた

手づくりへのこだわり。商品を順次店仕込みに切替。

ラグラスフェッドアイスのキャンペーン等を通して 接客サービスを強化。期間中はクレーム0件を達成。



老朽化している店舗は小改装を実施。上期は29店舗。

2025年度下期 国内外食事業 【居酒屋・焼肉】

Quality:商品を順次店仕込みに切替、手づくりにこだわる。看板商品を値下げしコスパUP↑

上期



7月より、「清流若どり もも一本焼き」を チルド化でさらにおいしく。 さらに899円→799円に値下げ。





10月より、「ワタミカルビ」を 598円→498円に値下げ。 下期

✓ こだわり その1

希少部位 "プレートフィンガー" 使用



インション こだわり その2

こだわりの特製のタレを 注文を受けてから揉みこみ



こだわり その3

大・中・小 全サイズ 大幅値下げでお求めやすく





8月に神奈川芸術劇場店をオープンし、8~9月累計で予算比135%を達成。 直営のみの「独占開発契約」から「マスターフランチャイズ契約」へと転換し、FC展開が可能となった。 初期投資の小さい小型版TGIモデルを確立し、多店舗展開に向けて体制を整備していく。











2025年度上期 国内外食事業 【bb.q オリーブチキン】

























月間平均月商売上(既存店)

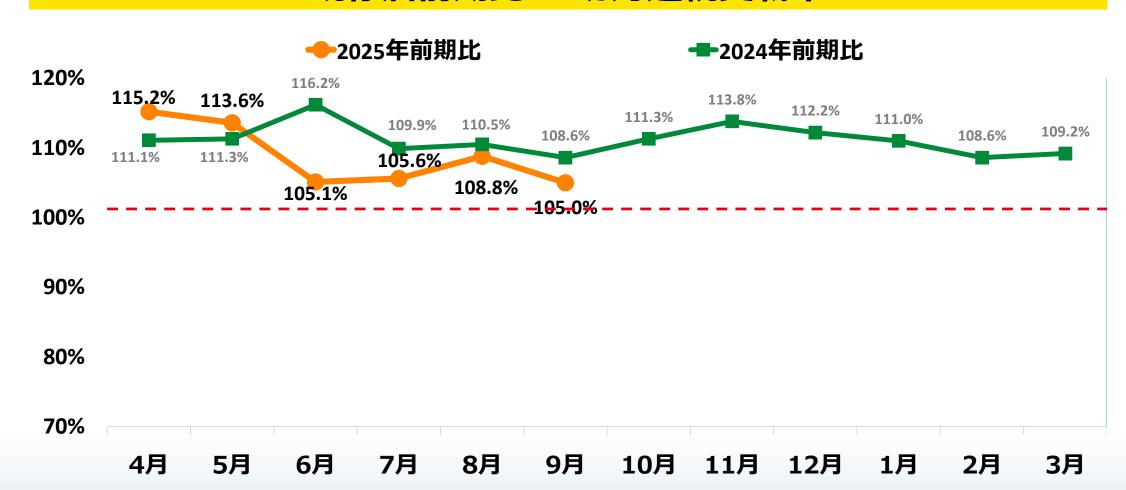






2025年売上前期比の推移(既存店)

既存店前期比 60ヵ月連続更新中

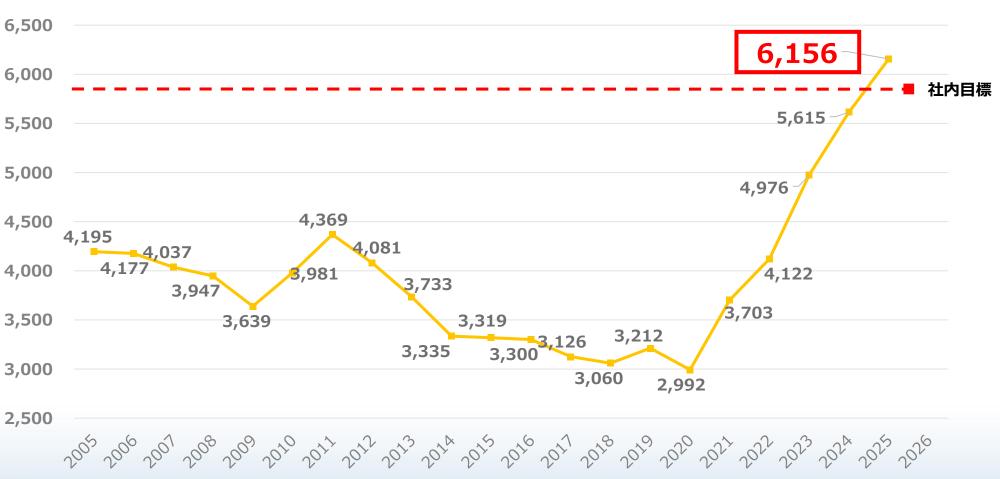






月間平均月商売上(9月まで・既存店)

今期の平均月商目標5,900千円に対して6,156千円の推移







ワタミに合流し、「QSCのバランスにおいて価格が安いこと」にこだわる

Q

商品への徹底的なこだわり。



ワタミグループの理念の浸透させ、 ワタミの想いを接客サービスに反映。

老朽化しているFC店舗は小改装を実施。 直営は居住性を重視したフレッシュフォワード2.0の内装へ。



Quality:"サブウェイ基準"の野菜にこだわる





- 1土壌管理
- 2農薬管理
- 3品質管理

約20社と提携し安定供給へ

2025年度下期 国内外食事業 【サブウェイ】



Quality:品質にとにかくこだわったコーヒーと、海外で主力のサイドメニュー"クッキー"を導入

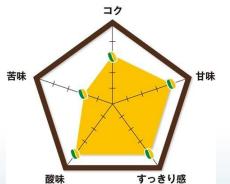
10月1日『新ドリップコーヒー』販売開始

1杯ずつ丁寧に淹れるフレッシュなドリップコーヒー。

















Service: ワタミ理念の浸透を接客サービスに反映

ビデオレターの配信

理念集配布

オーナー会の実施











Cleanliness:居住性と清潔感を両立した安らぎの空間へ



■ 直営店は居住性を重視した 店舗デザイン「フレッシュフォワード 2.0」を採用。

▼FC店も上期から順次改装を進める。







期間限定メニュー/ディナー/モーニング/キッズセット

「タコス」は昨年以上に盛り上がり、NIGHTバリューは継続して販売強化、モーニングやキッズセットもリニューアル



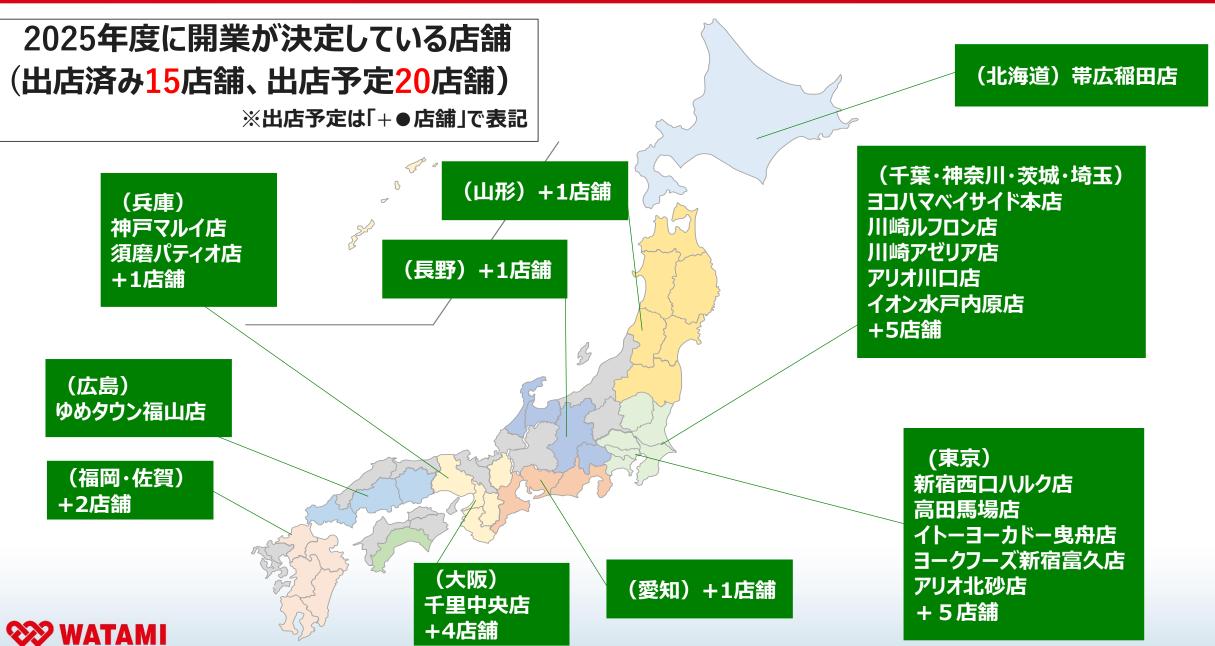






2025年度上期 国内外食事業 【サブウェイ】





2025年度上期 農業事業

菊芋加工品、乳加工品の販売好調により、増収増益。









単位:億円・%(▲は損失)

	売上高				営業利益				
	今期	前期	前期差	前期比	今期	前期	前期差	前期比	
畑作	2.3	1.8	0.6	131.3	▲ 0.1	▲ 0.3	0.2	_	
酪農	1.0	0.9	0.1	109.8	▲ 0.1	▲ 0.2	0.1	_	
加工	1.7	1.3	0.5	136.2	0.1	▲ 0.2	0.3	_	
その他調整・本部等	1.2	▲ 1.3	0.0	ı	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.0	_	
農業事業	3.8	2.6	1.1	143.8	▲ 0.3	▲ 0.8	0.5	_	

2025年度 農業事業

来年度より米の生産に着手

対象農地:千葉県香取市

農地面積:20ha以上(予定)

収量目標:100トン以上(自社使用量の約10%)



長期目標:











900トン

300トン

1,200トン

自社使用量の100%をカバー



2025年度上期 環境事業

夏の猛暑の影響で電力卸市場が高騰し、売上は前期を下回るが営業利益は確保。



単位:億円・%(▲は損失)

	売上高				営業利益			
	今期	前期	前期差	前期比	今期	前期	前期差	前期比
エナジー	15.1	16.5	▲ 1.3	91.9	1.7	1.2	0.5	143.6
その他調整・本部等	▲ 5.0	▲ 4.1	1 .0		▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.0	_
環境事業	10.1	12.4	▲ 2.2	81.6	1.5	1.0	0.5	148.1







法人向け電力プラン

『森林応援でんき』販売スタート



こだわり その1

電気使用量に応じて森林クレジットを付与



こだわり その2

契約切替だけで脱炭素経営に取り組める仕組み



こだわり その3

森林再生・地域資源循環を促進





海外事業の展開について

取締役 常務執行役員

渡邉将也



2025年度上期 海外事業

香港は減収ながら、固定費の減少も奏功し、増益。

Leader Foodは、原価および人件費の悪化が主要因となり、減益。

Watami US Corpは、関税問題などの向かい風に直面するも、前年同水準の利益確保。

単位:億円・%(▲は損失)

	売上高				営業利益				
	今期	前期	前期差	前期比	今期	前期	前期差	前期比	
香港	20.0	21.0	▲ 1.0	95.1	0.9	0.5	0.4	173.2	
台湾	5.4	5.4	▲ 0.0	99.9	0.0	0.2	▲ 0.2	17.2	
シンガポール	7.5	8.5	▲ 1.1	87.6	▲ 0.3	▲ 0.3	0.0	-	
L/F	16.7	16.3	0.4	102.8	0.5	1.6	▲ 1.1	34.8	
US Corp	2.9	1.9	1.1	159.0	0.3	0.3	▲ 0.0	79.7	
その他エリア・本部等	▲ 0.4	▲ 0.8	0.4	-	▲ 1.1	▲ 1.5	0.4	-	
海外事業	52.1	52.3	▲ 0.2	99.5	0.3	0.9	▲ 0.5	38.1	



【香港】小規模のWatami業態



成長へ向けて、新たな挑戦

Kai Tak Mall店 26年2月 OPEN予定 想定月商:12,000千円 店舗面積:45坪



店舗の特徴

- ✓ 今までのモデルからダウンサイズ。国土の狭い香港において、 資産効率を高め、出店余地を高めた新しい小型Watami業態。
- ✓ 大型スタジアムやスポーツパーク、商業施設が位置するカイタックエリア。 イベント時にはたくさんの人でにぎわう。



✓ 香港エリア 再成長のための新モデルへ挑戦。



【シンガポール】Watami業態

Mandai Wildlife Reserveに新規出店



2025年8月OPEN済 月商:13,000千円 店舗面積:90坪



店舗の特徴

✓ Mandai Wildlife Reserveは世界中から年間 500万人が訪れる、国内屈指の観光スポット。アジア 最大級の動物園や水族館、ナイトサファリを有する。

✓ Watamiブランドの認知を高め、アジアのFC展開を さらに拡大していくための重要な役割を担うフラッグシップ店舗。





Mandai Wildlife店

自然素材を活かした空間と商品で ワタミグループの価値観を表現。 サステイナブルな未来を見据えた デザインコンセプト。















【シンガポール】Leader Food社

加熱加工品のセントラルキッチンを新設、今年の12月から稼働開始

セントラルキッチン新設の背景

Leader Food -> 既存の非加熱加工卸業中心からドメイン拡大















【上海】鳥メロ

フラッグシップ店となる2号店の出店が決定 多店舗展開へ向けての布石



2号店「三代目鳥メロ 巴黎春天店」 (パリ・スプリング店) 26年11月 OPEN済 想定月商: 5,800千円 店舗面積: 30坪



店舗の特徴

- ✓2号店は商業施設や飲食店が数多く連なる地域で 昼夜問わず活気にあふれる好立地。
- ✓将来の多店舗展開につながる「フラッグシップ店舗」 再挑戦の中国本土で、成長のドライバーとなる。





[ラスベガス]

観光地に吹く逆風下においても、不断の挑戦



新商品提案が奏功し、 多数の新規ホテルとの取引開始









<u>継続した新商品開発により、</u> スーパーにおける売り場増を狙う











【ロスアンゼルス】

店名「Hayama by WATAMI」

1号店@Culver City Helms Avenue





26年3月 OPEN予定

想定月商:24,000千円

店舗面積:80坪



(店内イメージ)

特徴

✓ Culver Cityは映画産業で発展した最先端を走る街で、 ソニーピクチャーズ本社やアマゾンスタジオが所在。

∨ワタミグループ史上初 北米で祖業の「居食屋」を出店



Hayama by WATAMI

(ブランドロゴ)



新規出店とM&Aを駆使し、来期は100店舗+を目指す



外食事業 展開エリア

(25年11月1日時点 計80店舗)

- ① 香港・中国本土(22)
- ② 台湾 (9)
- ③ シンガポール(7)
- 韓国(18)
- ⑤ フィリピン(23)
- ⑥ マカオ(1)
- ⑦ アメリカ(26年出店予定)



Singapore

人材に関する取組みについて

取締役副社長 CHO

清水邦晃



従業員エンゲージメントの向上にむけて

年2回、従業員満足度調査を実施

設問「ワタミで働いていることに幸せを感じている」

80% (前回比+3.7%)

※2025年8月実績



理念の浸透及びスキル向上にむけて

全社員を対象とした階層別研修会(対面)の復活



【2025年上期実績】

- ·四半期開催(他事業合同)
- ・管理職・非管理職スキル研修
- · 次世代育成研修
- ・社員の賞賛の機会

(上期422名の社員を表彰)



インナーブランディングを強化

ワタミモデルツアーを通じて、社員の夢や目標を重ね合わせ、 成長する機会を創出









理念を体験する"紡ぐツアー"開催

- ①農場 (レタス・菊芋収穫)
- ②牧場(見学)③風車(見学)
- ④ワタミ森(間伐植樹)
- ⑤発展途上国(孤児院・学校等の見学)

参加実績:207名



一人でも多くの社員が長く安心して働ける環境へ

定年年齢及び再雇用年齢上限の引き上げを実施

定年 60 歳 65歳

(再雇用制度上限 70歳 75歳)



"ワタミらしい"仲間を増していく

生産性と成長を両立させ、人員拡充を通じて組織基盤を強化

■ 社員数推移 ※M&A除<

1,200名



【新卒採用計画】

2025年度 実績:13名

2026年度 計画:30名

2027年度以降計画:50名

【中途採用計画】

2024年度 実績: 80名

2025年度以降計画: 150名

2028年度以降計画: 200名



ワタミの取り組みをひとりでも多くの方へ

"ワタミモデル"を体験できるインターンシップを開催







SAJ・ボランティア コース



海外人材の受け入れを強化

特定技能・技能実習生の受け入れによる人材不足解消へ



宅食事業

特定技能人材 2ヶ国 **179**人 技能実習生 2ヶ国 **157**人

外食事業

特定技能人材8ヶ国218人

農業派遣事業

特定技能人材4ヶ国53人

合計 8ケ国 607人





サステナビリティの主要取り組み

代表取締役会長 兼 社長 CEO

渡邉 美樹



2025年度上期 ワタミエージェント(株)

WATAMI AGENT

バングラデシュ

『ジャパン ドリームストリート プロジェクト』 ~ 日本へ年間3,000人を送り込む ~



Monohardi Technical Training Center (モノハルディTTC)

寮 教室 定員150名 500名収容可能



THE FINANCIAL EXPRESS

WEDNESDAY • 27 AUGUST 202!



NATIONAL | 3 months ago

Japan to recruit 100,000 Bangladeshi workers in five years

FE ONLINE DESK





2025年度上期 公益財団法人 Save Earth Foundation

陸前高田市の森林クレジット販売開始



陸前高田市の森林から創出されたクレジット850tを販売。 自社初の取り組みとしてCO2オフセットの仕組みを構築。



⇒ 今期森林クレジット販売目標 2,000t ♣



2025年度上期 公益財団法人 SEF×SAJ

「もったいないおかずプロジェクト」×「SAJこども夢食堂」







- ▶ 食品ロス削減の取り組み 宅食工場で発生する食品ロス(未利用食品)を活用
- > SAJこども夢食堂へ毎月提供 上期はのべ187名が参加
- ▶ 他施設への展開をテスト中









2025年度上期 公益財団法人 みんなの夢をかなえる会



高校生みんなの夢RWRRDin

《大阪-関西万博

エントリー: 2,464人 396校

観客数: 2,733人

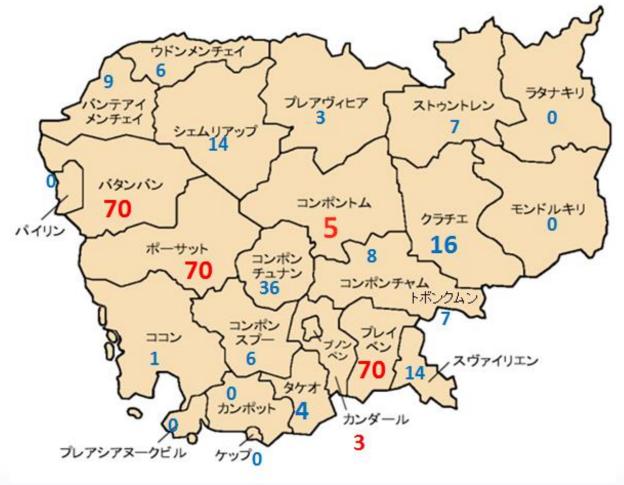






学校建設実績: **386**校 (2025年9月末時点)





2026年3月末 400校 を目指す

1999年から27年間、 小学4年生から6年生を対象に 「わたみ自然学校」を開催





毎年、夏休みに陸前高田で開催。「命」や「夢」の大切さを伝える。

(※本年は8月の津波警報は発令により、開催時期・場所を変更)



一人でも多くの社員が長く安心して働ける環境へ

定年年齢及び再雇用年齢上限の引き上げを実施

定年 60 歳 65歳

(再雇用制度上限 70歳 75歳)



私たちが紡ぐ物語

私たちは

有機の土をつくり、有機の作物を育てる

生産性高く、安全安心な食品を加工する

笑顔とともに、圧倒的に価値の高い商品を提供する

日本の食文化を世界に広げる

高齢者の方々の生活を支える

おいしく健康のためのお弁当をまごころとともに届ける

未来の子どもたちのために、 美しい地球を美しいまま残すべく、環境と向き合う

未来の子どもたちに恥ずかしくないように 自然エネルギーをつかい普及させる

循環型社会を実現する

開発途上国の子どもたちの幸せに関わる

森を守り、森を育てる

素敵な奇跡を起こす「夢」を応援し、私たち自ら「夢」を追い、 「夢」を叶える



















免責事項

- ・本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
- ・本資料に掲載されている事項は、ワタミグループの財務情報および経営情報の提供を目的としたもので、当社が発行する 株式の購入、売却および投資アドバイスを目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の責任、判断のもと になされますようお願いします。
- ・本資料に掲載されている事項には、当社に関する将来予測や業績予測が記述されていますが、将来の業績を保障するものではなく、 リスクや不確実性を内包するものです。 将来の業績は、経営環境の変化などにより、異なる可能性があることをご承知おきください。
- ・本資料に掲載されている事項または、本資料を利用することで生じたいかなる損失や損害に対しても、当社は一切責任を負うものではありません。また、予告なしに情報の掲載中止や変更を行うことがあります。
- ・本資料に記載された業績数字に関しては以下の基準に則ります 百万円単位表示の場合、百万円未満は、「切り捨て」 銭単位表示の場合、銭未満を「四捨五入」 %表示の場合、少数第1位未満を「四捨五入」

